



出雲崎中学校だより

〈第1号〉

出雲崎町立出雲崎中学校

TEL 0258-78-2137

FAX 0258-78-2164

令和6年5月1日発行

「豊かな心 たくましい実践」～令和6年度がスタートしました～

令和6年度、出雲崎中学校の教育活動が始まりました。4月9日（火）に入学式を挙行し、19名の新入生を迎えました。今年度は、1年生19名、2年生30名、3年生25名、全校生徒74名でのスタートです。約1カ月が経とうとしていますが、1年生は徐々に新しい生活に慣れ、毎日元気よく活動しています。かわいい後輩が加わり、2・3年生も生徒会活動や部活動等で積極的にリーダーシップを発揮しています。教育目標「豊かな心 たくましい実践」の実現に向けて、教職員一同、一丸となって頑張ります。今年度も、出雲崎中学校の教育活動に、温かいご支援をよろしくお願いたします。

入学式 式辞（一部抜粋）

校長：S a

19名の新入生の皆さん、出雲崎中学校への入学おめでとうございます。出雲崎中学校の教育目標は、「豊かな心 たくましい実践」です。ふるさと出雲崎に根付く「心耕」の精神を意識し、心を耕し、心を磨き、心豊かな人材に成長しようと日々の活動に取り組んでいます。また、具体的に「伸ばしていきたい心」として、「自律」「慈愛」「挑戦」の3つの心を大切にしています。

話は変わりますが、先日、石川県の第3セクター「のと鉄道」が、能登半島地震から約3カ月ぶりに全線再開したというニュースが報じられました。穴水駅で開催された出発式で、社長さんが時折、声を詰まらせながら、「今日はただの運行再開にとどまらず、私たちの絆の強さ、そして未来への希望の象徴となる」と挨拶されていたのが印象的でした。今回の地震で「のと鉄道」は、線路の隆起やホームの破損、土砂がトンネルをふさいだりと、甚大な被害に見舞われました。それでも、同じ鉄道会社のJR西日本が復旧工事に協力したり、電車が運行できない期間は、近隣のバス会社が代替輸送を実施したりと、様々な人々が、復興に向けて「のと鉄道」を支えてきました。また、全線再開を前に、地元の高校生の皆さんが、駅周辺の清掃活動を行ったという報道もあり、皆で前を向いて進んでいこうとする姿に心打たれました。1月1日は、出雲崎でも避難指示が出て、皆さんの中にも怖い思いをした人がたくさんいたかと思います。そんな中、出雲崎中学校の生徒は「自分たちに何かできることはないか」と考え、生徒会本部と奉仕委員会のメンバーが中心となって募金活動を行いました。多くの生徒がその志に賛同し、自分のお小遣いや家族の皆様から託されたお金を持ち寄り、たくさんの募金を集めることができました。

私は、中越地震を経験しましたが、あの時も、町内の方々や炊き出しのおにぎりを作って、一軒一軒回ってくださったり、役所や自衛隊の方々をはじめ、全国各地から多くの方が駆け付け、復旧活動に尽力してくださったりと、本当に人の温かい心に触れることがたくさんありました。数週間後にやっとガスが復旧したのですが、私の自宅に作業に来てくださったのは、関東地方から派遣されて支援に来られていたガス会社の方でした。また、ある日、東北地方のある農家の方から、被災地の小中学校に、数え切れない程の段ボールが届きました。その中には、たくさんのりんごが詰められていました。一つ一つの箱には、東北の子どもたちからの激励のメッセージが書かれ、農家の方からは「蔵の財よりも身の財、身の財よりも心の財、心こそ人生最高の『財宝』です。今こそ皆で力を合わせ、心の財を積み上げてください。」と書かれた手紙が入っていました。どんな時でも、今、自分は何をすべきか、どうあるべきかを考えて生きること、また、周りの支えがいかに人の生きる糧になるか、さらに、何事もあきらめないで前に進むこと、粘り強く頑張り抜くことの大切さなど、あの時、大変な日常ではありましたが、その中で、本当に多くのことを学びました。令和6年は、元日から能登半島地震に見舞われたり、大きな事故があったり、また、世界に目を向けると、各地で人を傷つけ合う争いが起こっていたりと、「豊かな時代」と言われる今日でも、世の中には様々な困難があります。皆さんの将来を考えても、今後、今ある職業の約半分は、機械やAIが人に取って代わる時代になると言われています。まさに、「予測不可能な時代」を生きていく皆さんは、「自分で考え、判断し、行動する」という「自律の心」、「互いを思いやり、認め合い、支え合う」という「慈愛の心」、「高い目標を掲げ、どこまでも自己を磨く」という「挑戦の心」を備え、心豊かに逞しく生きていくことが求められています。

これから始まる中学校生活、この「自律」「慈愛」「挑戦」の3つの心を意識して、精一杯、自分自身の課題に取り組んでください。仲間とともに、地道に努力を積み重ねることで、確実に皆さんの心は耕され、豊かな心が培われます。そしてそれは、自分自身にとってかけがえのない財産になるはずです。皆さんの後ろにいる2・3年生の先輩は、「私たち出中生を見てください」という合言葉を胸に、「自分たちが頑張る姿で、新入生をしっかり導いていこう」と決意を新たにしています。先輩たちは、必ず良いお手本を示してくれます。その姿を見習い、また仲間とともに励まし合って、お互いを磨いてください。そうすれば、皆さんも、この合言葉を、胸を張って堂々と言える一人一人に成長することができます。



交通安全教室

4月10日(水)、新入生を対象に交通安全教室を開催しました。町の交通安全協会・交通指導員・自転車組合の皆様、町役場総務課や与板警察署交通課・出雲崎駐在所の皆様と、多数の方々に参加してくださいました。今回は、特に自転車の乗車について、交通マナーや正しい乗り方、点検・整備のポイント等を、実技指導を交えながら一つ一つ丁寧に教えていただきました。中学生にとって、自転車は大変便利な乗り物ですが、交通事故の被害者だけでなく加害者にもなる危険をはらんでいます。また、現在、中学校の校門付近で工事が行われており、走行する自動車と生徒との距離が近くなっていることを心配しています。一人一人が、自覚ある行動で交通事故防止に努めてください。なお、新潟県では条例により、自転車損害賠償責任保険等への加入が義務化されています。各家庭で、確実に手続きをしていただきますよう、お願いいたします。



3年生修学旅行

4月24日(水)～26日(金)の3日間、3年生の修学旅行を実施しました。「Let's Enjoy Learning～関西で学び、関西で楽しむ～」をスローガンに掲げ、昨年度から実行委員を中心に旅行のルールを決めたり、役割分担をしたり、事前学習に取り組んだり、仲間同士で協力して準備を進め、2泊3日の修学旅行に臨みました。

1日目は、新幹線で大阪に向かい、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンで楽しい一時を過ごした後、バスで京都に移動しました。2日目は、全員で東寺を訪れた後、タクシーを利用して班別自主研修に出かけました。様々な文化遺産を巡ったり、インターネットや雑誌等で調べたお店で昼食をとったりと、どの班も十分に古都京都を満喫できたようです。また、夕方には、京都タワーで絵付け体験を行いました。3日目は、バスで奈良に向かい、興福寺国宝館・東大寺を見学した後、新幹線を乗り継ぎ、出雲崎に帰着しました。現地では、深遠な日本の歴史・文化とともに、多くの方々の温かい心遣いを肌で感じることができました。また、責任をもって自分の役割を果たす姿、出会った方々と和やかに会話を交わす姿、電車の中で進んで席を譲ったりする姿などが見られ、一人一人にとって、また集団として大きな成長の機会になりました。この旅行で得た力を、今後の生活で生かしてほしいと願っています。



令和6年度出雲崎中学校の職員です

この度の異動で、4名の職員が出雲崎中学校に転入しました。30名で力を合わせ、教育活動の充実を図り、生徒の成長を支えていきます。精一杯頑張ります。よろしくお願いたします。

※氏名の欄に(新)が付いている職員は、今年度新たに着任した職員です。

担 当	氏 名	担 当	氏 名
校 長	S a	さわらび学級担任、1学年副任、生徒指導主事	K a
教 頭、2学年副任	H o	養護教諭、2学年副任	I g
教務主任	K i	栄養教諭	O k
1学年主任	W a	主 事	O o
1学年担任	H a	施設管理員	U c
1学年副任	K o	主任調理師	S a
1学年副任、教員補助員	S a	調 理 員	H i
2学年主任、研究主任	I t	調 理 員	N a
2学年担任	S u	非常勤講師(家庭)	I w
2学年・さわらび学級副任、介助員	A d	非常勤講師(美術)	K a
3学年主任、進路指導主事	K u	情報教育支援員	Y a
3学年担任	Y a	心の教育相談員	Y a
3学年副任、教員補助員	M a	スクールカウンセラー	I n
3学年・さわらび学級副任、介助員	T a	教育相談員	M a
さわらび学級主任、3学年副任	K u	A L T	A l